

令和2年7月2日

学校法人三幸学園
札幌こども専門学校
校長 榊田規文 殿

学校関係者評価委員会
委員長 阿部 陽介

学校関係者評価委員会実施報告

2019年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 阿部陽介 (株式会社ライセンスアカデミー 札幌支社課長)
- ② 宮本忠純 (もいわ光華保育園 第12期卒業生)
- ③ 中村結衣 (飛鳥未来高等学校 キャンパス長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和2年6月25日

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2019年度 学校法人 三幸学園 札幌こども専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 本間正道

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 阿部 陽介

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り「誰からも愛される学校に！」

A 生徒から愛される学校

退学者の減少 →2018年度 9.6%
2019年度 7.2%
2020年度 5.3% (全国平均8.1%)

●年々減少させることに成功し、全国で1位の結果となった。

皆精率の向上 →2018年度 皆勤率21.1% 精勤率12.4% 皆精勤率33.6%
2019年度 皆勤率17.9% 精勤率26.0% 皆精勤率43.9%
2020年度 皆勤率20.9% 精勤率 17.8% 皆精勤率38.7%
(全国平均皆勤率11.4%精勤率12.2% 皆精勤率23.6%)

●昨年に比べると下がってしまったが、全国平均からは大きく上回る結果で、全国2位の結果となった

B 園から愛される学校

挨拶の徹底→職員室の入室については入学当初から指導をし、徹底できるようその場で指導。

自ら考え行動できる生徒の育成→生徒会では、メンバーが主体になって考え、「ありがとうノート」を各クラスに設置し、ありがとうの気持ちを綴ることを行った。また、校内写真掲示や、合同行事の運営等も行った。

② 学校関係者評価委員会コメント

中村委員：数値について、情報公開はされているが、高校生はあまり意識して見ていない。保護者の方からは聞かれたら答えている現状。主体性を伸ばすうえで、生徒会の取り組みはよいと思う。自分で考える機会を卒業生にも与えていただきたい。

阿部委員：高校の現場で、退学率等の数字は進路選択をするうえで重要なポイントとして紹介するようにしている。イメージで語られることが残念で、三幸学園について入学させればOKと思っている学校もある様子なので、

大々的にこの数字についてはアピールしていくとよいと思う。また、他校に比べて挨拶をしてもらえることが素晴らしいと思う。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

入学前の保護者会や、入学直後のスタートアッププログラムという行事の中で、周知をしている。

また、オープンキャンパスの保護者会においても、周知する機会を設けている。

浸透度は図っていないため、改善を図りたい。

② 今後の改善方策

進級後にも重ねて理念や目的に触れる機会を設けたい。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

中村委員：当校も、年度の変わり目・期の変り目に周知している。

阿部委員：会社としても年度の切り替わりで話をしている。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

Infoclipper というシステムを昨年度から導入し、機能の精度が上がっている。今年度からは成績も自動入力が可能になるため、効率化が図れる可能性が高い。

② 今後の改善方策

年度途中にシステムの変更が多いため、随時情報共有をして使いこなしていくことが必要

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

最新の保育業界に関する知識・技術向上の為の機会があまり設けられていない。

関連分野からの意見をひろくいただく場面を設けていない

② 今後の改善方策

外部講師を招き、最新の情勢について教員が学ぶ機会を作る

エリアを担当する教員より園の訪問時にカリキュラムへのご意見等をいただく機会を設ける

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

阿部委員：他校にて、卒業し現場に出て、習っていたことが通用しないとわかり入学しなおしたと聞いたことがある。

在校中から現場の経験を積むということは素晴らしい取り組みだと思う。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

卒業生の動向を把握しきれていない。

② 今後の改善方策

SANKOGATE という学内アプリを卒業生向け(SANKOLINK SNS)が今年度完成したので、卒業生の状況を把握できるよう発信していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

中村委員：高校では、ゴールデンウィーク後に卒業生へ電話がけをしてヒアリングをしている。

阿部委員：大きい学校なので、一人一人を探っていくことは現実的に難しいのではないかと。高校では、卒業生が現場で活躍している状況を伝えるととても喜ばれるので、できる限り情報を収集するとよいと思う。

宮本委員：授業で平日に休みのある卒業生を招いて話してもらう機会を設けてもよいかと思う。卒業生に対して、グループLINE等で状況を探ることをしていただいている。札幌にいる卒業生をオープンキャンパスに招いてはどうか。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

学生相談については、スクールカウンセラーの案内を行っているが、利用者が少ない
保護者には、担任からの電話がけでの連携を行っているが、対応の難しいご家庭が増えている
卒業生に関しては、本人からの連絡があった時のみ求人など相談に応じて対応できているが、積極的な呼びかけ等はしていない

② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの利用については、お手洗い等の校舎で目にしやすい場所にも案内を貼り、気軽に利用ができることを担任からもアピールして推進する
保護者には年に1度の電話がけにとどまらず、気になる学生に関しては積極的に保護者を巻き込んで協力体制を作っていく
卒業生には、SANKOLINK SNS を利用し、求人の案内を行っていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

中村委員：高校では、進路目的の三者面談を2年次に実施している。
宮本委員：就職に関する支援は、担任の先生にも手厚く対応いただいていた。先生方の雰囲気が好きですが、今まで以上に生徒同士をうまくつなげてほしい。何かあればまたご協力させていただきます。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

新型コロナによるソーシャルディスタンスを保つための施設として、文科省の基準を満たせておらず、分散登校が続いている状況。

② 今後の改善方策

3人掛けの机の為、今後飛沫感染を防ぐための仕切りを設置。全面登校に向けての準備を整えている

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

宮本委員：エレベーターが狭いとは感じていたが、階段を使用すれば問題なかった。在学中はどの教室も快適に使っていた。ピアノ室も広く、不都合を感じていたことはない。

阿部委員：進路選択において施設設備は重要という指導もあるが、そこまで施設設備が重要ではなく、オープンキャンパスで親切な対応をしてもらえたかどうかを高校生は重要視すると思う。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

今後も努力を継続していきたい

② 今後の改善方策

学生の満足度をあげられるよう、日々の教務についてのフォロー体制を整える。

授業力を向上できるよう、教員向けの講習会を実施する。

検定取得率・就職率を保つ

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

阿部委員：コロナの状況で高校三年生は今年度はどうしても遅れているが、これまで1・2年生の時にどれだけ接してきたかが重要になっていると思う。

中村委員：3年生は出だしは遅れてしまっているが、以前から動いている学生については問題なく動いている。

宮本委員：TwitterやLINEにて、コース内容や体験の内容の動画等を流すと、高校生は興味を持ってくれるのではないかと思う。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

成績管理のデータ化に伴い、個人情報の保護についてさらなる徹底が必要。

② 今後の改善方策

全体会議・担任会議で、個人情報の保護についての方法を確認する

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

中村委員：高校においてもすでに自動で算出する成績評価を行っている。問題なく運用できている。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

あそびのひろばの開催により、地域との交流は図っているが、もっと広く広報したい

② 今後の改善方策

今年度より札幌市の後援をいただいているので、あそびのひろばをこれまで以上に広く広報していく。

③ 特記事項

これまでも、札幌東急百貨店様で月に1回お客様に製作や劇を行うイベントを実施。また、不定期で、依頼先にてイベントを実施している。（アリオ・ウイングベイ小樽・北広島アウトレット・札幌ファクトリーなど）

④ 学校関係者評価委員会コメント

阿部委員：こういった活動を把握していなかったので、ぜひ広く伝えていきたい。

宮本委員：共働きの家庭の土日の需要は大いにあるので、安心を強めて発信するともっと利用者が増えると思う。

中村委員：実際には強豪の専門学校と悩むより、短大と悩む子が多い。短大との差別化をできるようになるともっと生徒に伝えていけると感じている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度より、さらに退学率は減少し、皆勤率精勤率も高い数値を保っている状況。全国の姉妹校の中でも高い数値でよい結果を出せている。これも、教職員の教務力と、熱心な指導の結果であり、今後もあきらめないう教育を実現していきたい。一方で、高校等へそういった実情が伝わっていないことがわかった。広報の面で、広く教務力の高さについて伝えていきたい。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、年度の始まりが休講やオンライン授業であったこともあり、例年以上に個々人の状況を把握してフォローする体制が必要となる。学生の精神面を支え、情報交換を教職員内で行うことが必要である。また、副担任制にすることで一人一人の学生の状況に合わせてより多くの教員が多方面からかかわる仕組みを設けているので、これを生かしてより細かい対応をしてきたい。

また、2020年度は教務姿勢方針として「向き合う向き合う向き合う」を掲げている。生徒と向き合うのはもちろん、教科担当と担任が向き合い、教科担当同士も向き合いながら、より一体感を持てるように運営していく。